

UNIVERSITY
JOURNAL

全大教時報

Vol. 41 No. 5
2017.12

私立大学から公立大学への移管をどう考えるか

小林 喜平 <公立大学法人首都大学東京労働組合 書記長>

大阪府立大学と大阪市立大学の統合問題に関して

山田 智貴 <大阪府大学教職員組合 書記次長>

ローカル線で行く! フーテン旅行記(15)

—のんびり新幹線紀行!—

大西 孝 <岡山大学工学部 助教>

Contents

- **私立大学から公立大学への移管をどう考えるか** 1
小林 喜平 (公立大学法人首都大学東京労働組合 書記長)
- **大阪府立大学と大阪市立大学の統合問題に関して** 8
山田 智貴 (大阪府大学教職員組合 書記次長)
- **ローカル線で行く！フーテン旅行記 15**
— のんびり新幹線紀行 — 15
大西 孝 (岡山大学 工学部 助教)

私立大学から公立大学への移管をどう考えるか

公立大学法人首都大学東京労働組合 書記長
首都大学東京 都市教養学部 理工学系 技術職員

小林 喜平



海外一人旅が趣味で、訪問国では著名大学散策とスポーツ観戦が定番となっている。2015年から、全国公立大学教職員組合連合会（公大連）執行委員として活躍中。

はじめに

2009年の高知工科大学に始まり、私立大学から公立大学への移管が進んでいます。2018年4月からは、小松短大が4年制の公立大学法人として発足するほか、私立諏訪理科大学も公立大学法人となり、私学から公立となった大学は、合わせて10校になります。現在、検討中の大学も数校あり、経営の厳しい私立大学の救済手段としても注目されています。

公立大学はなぜ増えたのか

1971年に、公立大学への地方交付税が措置されたこともあり、公立大学の新設が抑制されてきました。ところが、1990年頃には、40数校だった公立大学は、平成に年号が変わった1989年頃から急速に増えてきました。2004年に地方独立行政法人法が施行されてから、法人化が進む過程で、私の勤める首都大学東京のように、3大学1短大を統合して公立大学法人となった大学も数校ありながら、2018年には冒頭に記した2校に加え、長野県短期大学が4年制となり、公立大学（4年制）は、合わせて92校となります。公立大学への移管を行った大学を含めて、公立大学が増えてきた過程を振り返ってみましょう。

1970年代の高度経済成長期を経て、1980年代に入ると地方の過疎化が進むようになりました。国土庁が地方活性化のために大学誘致政策を進めたこと、大学進学率が上昇したこと、知識産業と連携した産学共同のまちづくりという通産省の政策もあり、このころから公私協力型の大学が設置されるようになりました。自治体が土地や資金の一部を負担し、学校法人が運営する大学が公私協力型の大学です。

1990年代に入ると、大学設置基準の大綱化や「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の施行などの要因で、大学の新設が増えてきます。一方で増える行政需要に税収が追いつかず、行政改革が叫ばれるようになりました。そ

【資料1】国公立大学比較（2016年度） 学校基本調査より

| | 国立 | 公立 | 私立 | 合計 |
|------------|---------|---------|-----------|-----------|
| 大学数 | 86 | 88 | 601 | 775 |
| 在学生数 | 610,266 | 150,477 | 2,112,323 | 2,873,066 |
| 教員数(本務者) | 64,771 | 13,293 | 106,200 | 184,264 |
| 事務職員数(本務者) | 27,578 | 4,944 | 54,939 | 87,461 |

ここで登場したのが、地方自治体が校舎や敷地を整備し、運営は私立の学校法人が行う公設民営大学です。「官から民へ」という政府の掛け声もあって、自治体が運営の補助をし、職員も自治体職員が担う公設民営大学は時代のトレンドでもありました。

2000年代に入ると、国の景気刺激策としての財政出動で、公立大学新增設に際し起債を認め、その償還に地方交付税を措置する「地域総合整備債」制度が作られ、公立大学が急速に増えていきました。前述の「看護師等の人材確保の促進に関する法律」により、多くの自治体で保健医療・看護・福祉といった名称を持つ大学や学部も増えて、これらの学部は公立大学の学部数の4分の1を超えています。

また、1988年には53校あった公立短大は、現在15校に減少しており、短大を基礎として4年制大学に改組、あるいは既存の公立大学に統合されています。

公私協力大学と公設民営大学が公立大学化している

2017年4月までに、公立大学となった私立大学の全てが、公私協力大学や公設民営大学です。地方の私立大学が定員を充足できない一番の原因は、地方都市の疲弊にあります。高速道路網や新幹線が整備され、特に若い人は大都市に集まるようになります。大学も東京圏や京阪神圏の大規模大学に集中するようになりました。

高度経済成長が終わり、バブル景気が弾けた後は、地方の大学を卒業した学生を受け入れる地元企業の力も弱くなってしまいました。一例を挙げると、秋田新幹線開業によって、秋田市から企業の支店や営業所が仙台に集約される。このようなことが、あちらこちらで起こってきました。産業構造も変わり、設立当初の学部や学科も学生と地方企業のニーズに合わなくなり、小規

模だったこれらの大学は、こうした波をモロに被ってしまいました。

地方の大学の学生は、地元の高校からの入学者が多く、定員割れが進むとさらに地元出身者の占有率が高まります。結果として、出身高校の評価の影響が強まり、進学校からの受験者が減り、定員を充足するために学力以外の能力や資質を指標とした入学者を受け入れることとなります。偏差値は下がり、進学校からの受験者が減るという悪循環が生まれ、定員を満たすことが難しくなってくるのです。

自治体は、大学進学者の地元離れを手をこまねいて見ているわけにはいきません。公私協力大学や公設民営大学には、税金が使われているのです。

公立大学に移管するメリットは

こうした大学を公立大学にすれば、設置自治体としての責任は重くなりますが、地方交付税交付金が受けられるようになり、実験設備の必要がない人文社会系の大学であれば、授業料を引き下げても運営費の大半を国から交付金でまかなうことができます。それまでの負債を運営していた学校法人に処理させて、自宅から通える授業料の安い大学を残すことができるのです。

高校の評価も変わってきます。高校の大学進学実績として、「国公立大学にどれだけ合格したか」という中に含まれることとなりますから、進路指導も変わってきます。県外からの受験生も増加し、志願者が増え定員を満たすことができるようになりました。定員が充足されれば、経営は安定してきます。18歳から22歳という青年人口を安定的に確保することができれば、地域の祭りなどの伝統行事も継続できる可能性を広げることとなります。県外出身者の流入は、人口増につながります。実際、近年公立大学法人に移管となった大学は、受験生も増え、これまでより広い地域から学生が集まっています。

日本私立学校振興・共済事業団の調査によると2016年に定員割れとなって

【資料2】 公立大学となった私立大学（検討中も含む）

| 大学名 | 開学年度 | 公立大学化 | 所在地 | 設置団体 | 以前の設置形態 |
|---------|------|-------|-----------|--------------|---------|
| 高知工科大 | 1997 | 2009 | 高知県香美市 | 高知県 | 公設民営 |
| 静岡文化芸術大 | 2000 | 2010 | 静岡県浜松市 | 静岡県 | 公設民営 |
| 名桜大 | 1994 | 2010 | 沖縄県名護市 | 北部広域市町村圏事務組合 | 公設民営 |
| 公立鳥取環境大 | 2001 | 2012 | 鳥取県鳥取市 | 県と鳥取市 | 公設民営 |
| 長岡造形大 | 1994 | 2014 | 新潟県長岡市 | 長岡市 | 公設民営 |
| 福知山公立大 | 1950 | 2016 | 京都府福知山市 | 福知山市 | 公私協力 |
| 山口東京理科大 | 1987 | 2016 | 山口県山陽小野田市 | 山陽小野田市 | 公私協力 |
| 長野大 | 1966 | 2017 | 長野県上田市 | 上田市 | 公設民営 |
| 小松短大 | 1988 | 2018 | 石川県小松市 | 小松市 | 公設民営 |
| 諏訪東京理科大 | 1990 | 2018 | 長野県茅野市 | 諏訪広域公立大学事務組合 | |
| 旭川大 | 1964 | 検討中 | 北海道旭川市 | | |
| 千歳科学技術大 | 1998 | 検討中 | 北海道千歳市 | | 公設民営 |
| 新潟産業大 | 1950 | 検討中 | 新潟県柏崎市 | | 公設民営 |

いる私立大学は257校で全体の44.5%にあたり、11.1%が70%以下の定員充足率となっています。地方別にみると、東北や四国が特に厳しいようです。大学が一部の地域に偏在している状態は、決して好ましいことではありません

ん。非正規雇用が増加し、世帯収入が増えない中で子どもを下宿させて大学に通わせる負担に耐えられない家庭であっても、自宅から通える大学であれば、高等教育を受ける条件は広がります。

基礎的自治体を維持していくためにも、若い人を地域にとどめる一つの方策として、経営の厳しい地方の私立大学の公立大学化がしばらくは進んでいくと思われます。公立大学化は、大学側の破綻処理という側面よりも、どちらからかといえば、自治体からの要請の方が強いようです。

未来は明るいか

しいことづくめようですが、問題点はないのでしょうか。18歳人口は今後、移民や難民を多く受け入れるといった政策変更がなければ、減っていくことは、人口統計が示しています。10数年後には、20万人程度減少することが予想され、仮に大学進学率が現在の50%程度にとどまると、学生総数が1000人程度の中規模の大学が、100校消滅することになります。

また、設置団体となった自治体の財政は決して豊かではなく、公立大学法人となった大学は効率化係数によって、年々運営費交付金が削られていきます。2017年度からは、地方交付税交付金に「トップランナー方式」が取り入れられるようになり、「効率的運営」が行なわれている自治体の水準に合わせるよう求められるようになりました。実際、今年度は、公立大学に関わる基準財政需要額のうち、理科系と保健系の学部について、減額の措置がとられています。地方交付税交付金の総額は決まっており、公立大学が増加すると少ないパイを分け合うことになります。

公私協力大学と公設民営大学が公立大学化していることを、先に述べました。今後はより地域のニーズにあった教育を提供することが、設置自治体からより強く求められることになるでしょう。設置団体の首長や議会からの干渉が強くなる恐れもあります。設置基準の大綱化で以前よりハードルが低く

なっていますが、短大を4年制の大学に移管する場合には、それなりの投資も必要です。新しく公立大学を持つ自治体だけでなく、現在公立大学を抱えている自治体も、大学を今後も維持し続けるという責任と覚悟がますます必要となります。

大学の職員については、設置自治体からの派遣職員が大学職員として送り込まれてくることとなります。派遣職員は、「公益法人等への派遣法」により、派遣期間が最長でも5年と規定されており、大学行政に精通する前に、派遣が解消されるという問題があります。法人化以前でも、公立大学は自治体の人事異動のサイクルで頻繁に職員が代わるという問題を抱えていました。

労働組合の立場から

私立大学から公立大学法人となる場合の、労働組合としての対応ですが、なにより労働条件の不利益変更を許さないことです。給与については、地方独立行政法人法57条で、「地方独立行政法人の業務の実績を考慮し、かつ、社会一般の情勢に適合したものとなるように定めなければならない。」と定められています。それまでの教職員の給与が、設置団体である自治体の給与と比較して、著しく異なる場合には、代替措置の要求も必要となります。この場合、旧経営者との交渉が必要となる場合もあります。

福利厚生の方では、私立学校共済から脱退することになります。しかし、公立大学法人になったからといって、公立学校共済に加入することも認められておらず、健康保険は協会けんぽとなります。高知工科大学の場合は、既存の高知県立大学と高知短期大学と同じ高知県公立大学法人が経営する大学となったために、公立学校共済に加入が認められているのが数少ない例外です。

大阪府立大学と 大阪市立大学の 統合問題に関して

大阪府大学教職員組合 書記次長
大阪府立大学 高等教育推進機構 助教

山田 智貴



ものづくりと海にまつわる教育研究が専門。フィールドワークは何でも大好き。2015年度、大阪府大学教職員組合書記長として活躍。

はじめに

大 阪府立大学と大阪市立大学の統合は、大阪都構想において2大学を府と市の非効率な重複施策、いわゆる二重行政の解消の一策として示された。大阪都構想は大阪維新の会の政策として2010年に掲げられたものであるが、大阪府立大学に対する運営費交付金の削減という「改革」のプレッシャーはそれ以前から非常に強いものであった。今回、その一連の流れを改めて法人化前後から振り返ってみた。

三大学統合と法人化

大阪府立大学の法人化は2005年度であった。それは単なる運営形態の変化のみではなく、大阪女子大学、大阪府立看護大学との統合を同時に行うものであった。この三大学統合と法人化については労使間（当時は大阪府と組合）でも十分に協議する時間的余裕はなく、交渉は規定の整備や労使協定のため新大学発足直前の深夜にまで及んだ。大阪府立三大学の統合は、大阪府の財政問題に起因する行財政改革の一つということができ、それまでも1996年からの度重なる人件費抑制（2年間ベースアップ停止、24月昇給停止、期末勤勉手当含む各種手当の引き下げ等）のほか、老朽学舎の改修、建替の延期がなされていた最中であった。そのため、大阪府直営から法人となることについては、大学教職員の処遇や教育研究環境の改善を法人独自の裁量で実施できるようになるのでは、という期待をはらむものであった。

どうにか三大学統合と法人化を乗り越えたところで、事態は大きく動く。2008年からの橋下府政において財政非常事態宣言が出され、大学においては中期計画中であるにもかかわらず、運営費交付金を3年間、毎年1,011百万円縮減するというものであった。同時に大学に対して「大阪府立大学は必要か」「文系学部は不要である」といった趣旨の発言が知事から出され、本学は生き残りをかけ2012年の学域制への移行を余儀なくされることとなった。しかし、2010年からの大阪都構想によって、さらに事態は変化する。

大阪市立大学との統合案が出される

2011年の大阪（府市）ダブル選挙で大阪市長に当選した橋下前市長は、府市の二重行政解消の一環として本学と大阪市立大学の統合（当初は2016年4月新大学発足）を提唱した。これは辛くも市議会の反対等で延期されることになったが、2015年に「新公立大学大阪モデル基本構想」が出

されその方針は事実上の規定路線となった。2016年からは副首都推進本部会議において法人統合を先行（1法人2大学）、その後大学統合を実施する方向が出され、2017年の府議会です承、市議会では審議中（11月末現在）という状況である。

「大阪府立大学のあり方」について、一方的な議論始まる

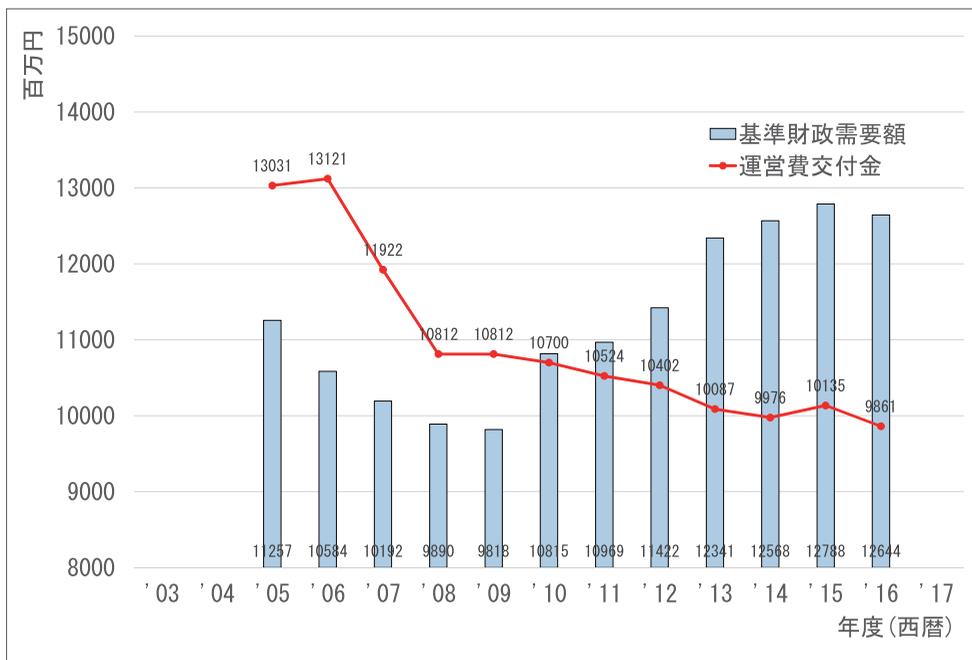
学域制へ移行した頃にはまだ大学の将来について議論がなされていたと思われる。内閣府「理工チャレンジ」に掲載されている本学の組織概要の中には“2005年度には、大阪府立大学、大阪女子大学、大阪府立看護大学の三大学の統合と同時に法人化しました。「高度研究型大学～世界に翔く地域の信頼拠点～」を基本理念に掲げ、着実に成果をあげてきましたが、大学を取り巻く環境の変化に対応するため、2012年4月より「4学域13学類体制」の新しい学びをスタートさせました。理系・文系の壁を超え、幅広い分野を横断した学際的な学びを実現します。”（内閣府男女共同参画局HP下の理工チャレンジ¹から抜粋）とあるが「大学を取り巻く環境の変化」とは府立大学不要論から文系学部不要論に転じた設置団体からの強圧の変遷と符合すると言えるだろう。2008年に本学で策定された「公立大学法人大阪府立大学の将来像」では、大学力に関する記述の冒頭で“実学に通じる専門教育に強い旧大阪府立大学と大阪府立看護大学、そしてリベラルアーツに定評のあった大阪女子大学が統合したことで、「実学」と「リベラルアーツ」のバランスが取れた大学となっている。また、全国の大学から専門教育課程の中に埋もれる形で教養部が姿を消す中であって、全学的な教養教育・共通教育の核となる総合教育研究機構を有するとともに、人文・社会科学分野の専門教育が充実しており、学士課程教育における「学士力」の重要性が叫ばれ

¹ <http://www.gender.go.jp/c-challenge/kyouryoku/kouritsu/009.html>

る今、我が国の大学のリーディング・モデルとしての発展が期待される。”と記載しており、15年後を見通したものとしていた。しかし、この策定直後に大阪府において「大阪府立大学のあり方」についての一方的な議論が始まり、本学の将来像は一瞬にして異様に変容した。この間、教職員は急激な人員削減と繰り返される改組によって疲弊し、新たな将来計画を描くポテンシャルは失われていった。

法人化以降、公立大学法人大阪府立大学が政治主導で翻弄されてきた主因は運営費交付金の算定と中期目標の設定が府議会マターとして一方的に押しつけられる構図が固定化しているためと考える。最近の運営費交付金の変化を図1に示す。

図1中の棒グラフは、文科省が定める基準財政需要額である。組合は法人化以前から本学の基準財政需要額を明示するように府もしくは法人に求めて



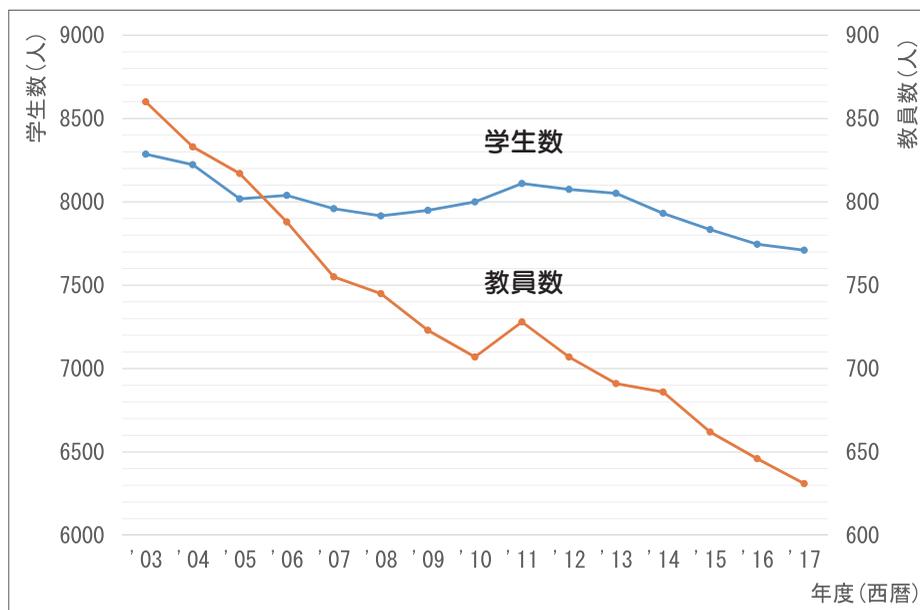
【図1】大阪府立大学の運営費交付金と基準財政需要額の比較
(第10回副首都推進本部会議資料4-3から)

きたが、近年まで「不明」とされてきた。

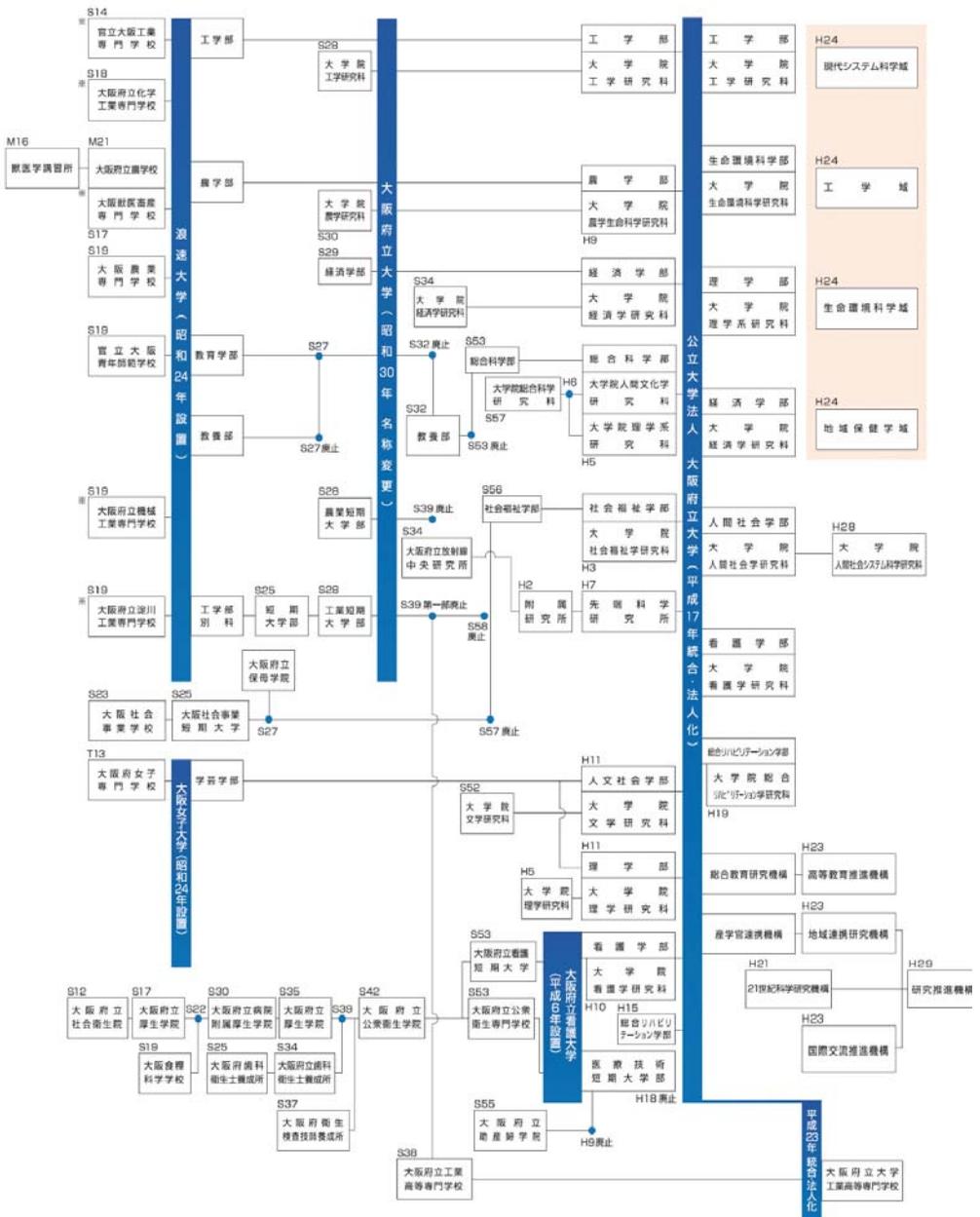
しかし「新公立大学大阪モデル基本構想」の関連資料の中で突然に開示された。これと運営費交付金の推移を重ねてみると、2005年の法人化以降の財政的締め付けはいかに異常なものか、容易に見て取ることができる。図2に最近の教員数と学生数の推移を示す。

この図を読み解くまでもなく、この結果生じた人材流出と組織的疲弊は重大であることは容易に理解できる。職員の削減も同様に深刻で、2003年度には310人だったのが2017年度には169人である。このような状況下で本学の教育研究活動が維持されていることは驚異とも言えるが、実情としては多くの教職員がもはや限界と感じている。

図3に本学の沿革を示すが、図のうちほぼ右半分は前述の法人化以降のものである。このような大幅な統合、改組が学内の十分な議論を待たず断行されてきたことは非常に残念でならない。



【図2】大阪府立大学の学生数および教員数の比較「データで見る公立大学法人大阪府立大学 2006～2017年版」から抜粋



【図3】大阪府立大学の沿革「データで見る公立大学法人 大阪府立大学 2017年度版」から抜粋

大阪府財政問題と中期目標の拘束

大学内の議論の余地がほとんど無いままに運営費交付金の大幅な削減や改組、統合が実施されることに対しては、組合は諸々と合意したわけではない。労使間で都度「大学の自治」「学問の自由」の下に協議を重ねたが、運営費交付金の算定や中期目標の決定（中途での変更も）は府議会で決定されるのであり、そこに大学の意見は反映されにくいと言う構造的問題については、法人化前の直営時代の条例主義と同様になかなか解決の糸口が見えない。

法人統合の動き

大阪府立大学と大阪市立大学の統合に関する議論は、大阪都構想を前提として行われたものであったが、2015年に大阪市では住民投票により大阪都構想が否決され、堺市長選挙においても大阪都構想に反対する民意が示されている。にもかかわらず府市の副首都推進本部の下で府市と両大学による新大学設計4者タスクフォースから、両大学の法人統合に係る新法人定款案が今秋の大阪府議会、市会に提案された。今回も行政主導で新大学に関するいくつかの提言と計画が示されたが、両大学の将来像については大学内でも、両大学間でも十分に議論されたとは言えない。統合の意義についても、未だに「選択と集中」、「重複分野の整理」を中心とした合理化のみが骨子といえる。大学は生きた教育研究機関である。本学も図3に示したとおり社会の要請により設置され、戦前から今日に至るまで、多くの統廃合、組織改編を経たわけであるが、決して行政主導の合理化の追求のみでなされたわけではない。今般の両大学の拙速な統合によって、各大学の歴史や使命がなごりにされること、学生の教育に深刻な悪影響が及ぶようなことはあってはならない。法人統合・大学統合に際しては、拙速な統合を見直すことを求める。両大学内での議論を深めるとともに、大阪府市両議会での府民、市民のための大学についての十分な議論がなければならない。

ローカル線で行く！ フーテン旅行記 15 —のんびり新幹線紀行！—

岡山大学工学部機械工学コース助教

大西 孝



専門は機械加工（研削）。主に円筒研削や内面研削を対象として、工作物の熱変形や弾性変形に伴う精度の悪化を防止する研究を進めている。趣味は列車を使用した旅行（47 都道府県を踏破済）。

はじめに

出張でよくお世話になる新幹線。目を見張る速さと運行時刻の正確さは世界に誇るものです。ただし、新幹線はどうもビジネスライクで旅情が感じられないと思われるかもしれません。確かに「のぞみ」や「はやぶさ」のように、主要駅しか停車しない速達性を重視した列車の車内は、ビジネスで利用する乗客であふれ、この旅行記で取り上げるローカル線の列車とは対極にあるといえます。しかし、停車駅の多い列車では、途中の駅で速達列車に進路を譲るために数分間の停車時間が設けられており、のんびりとした旅が楽しめます。今回は、フーテン旅行記では異色の新幹線の旅をご紹介します。

1. 新幹線の各駅停車！山陽新幹線「こだま」

最 高速度 300 キロ
で「のぞみ」が行
き交う山陽新幹線。
2011 年の春には九州
新幹線とも接続し、
「みずほ」や「さくら」
に乗れば新大阪駅から
4 時間程度で鹿児島へ
行くことができるよう
になり、西日本の主要
都市を結ぶ高速鉄道と
して、発展を続けています。



山間の駅で小休止。九州新幹線への直通列車（右）に道を譲ります。

そんな新幹線にも、ゆったりとした時間の流れる列車があります。それが今回ご紹介する「こだま」。ご存知のとおり、東海道・山陽新幹線の中では最も遅い各駅停車ですが、ビジネスマンを満載して駆け抜ける「のぞみ」とは異なり、のんびりとした旅を楽しむことができ、さながら「新幹線のロー



時折、車窓から瀬戸内海の島々を眺めることができます。徳山駅で撮影。

カル列車」といったところでしょう。

山陽新幹線の「こだま」は、新大阪より東の東海道新幹線へは直通せず、ほとんどの列車が山陽新幹線専用の8両編成で運行されています。特に日中の「こだま」の大半は、「ひかりレールスター」と同じ車両で運行され、快適な旅を楽しむ



旅の楽しみは駅弁！写真の小倉駅の「ふくめし」にはフグの炊き込みご飯の上にフグのから揚げなどが載っています。

ことができます。なぜこの車両が快適かというと、新大阪側の5両（そのうち3両が自由席）の座席は通路の左右に2列ずつ配置されており、グリーン車並みの横幅があるからです。「のぞみ」の普通車は通路を挟んで3列と2列、合計で横に5列の座席が並んでいますが、特に混雑してくるとやや左右が窮屈になります。出張の際に満席の「のぞみ」に乗って、3列側の中央の座席に乗車してずいぶん疲れたという経験をされた方もいらっしゃるかもし



座席が左右に2列ずつ並び新大阪寄りの自由席車内。グリーン車並みの幅がある座席は快適です。

れません。その点、「こだま」は左右の座席幅が広く疲れることはありません。なお、子供に人気の500系は、指定席を除き横5列の配置ですが、いずれにしても車内がよく空いているので、窮屈な思いをすることはありません。

新大阪から博多に行く場合、「のぞみ」であれば2時間半程度で到着しますが、「こだま」はさらに2時間ほど余分に時間がかかります。途中の駅で10分近く停車して、後続の速達列車を先に行かせることもしばしばです。そんな時は、乗り遅れないように発車時間に注意しながら、駅の売店をのぞいてみましょう。地元の駅弁や、名産品を売って



待つ人もまばらな小倉駅のホームへ入ってきた新大阪行き「こだま」。時間をかけてすべての駅に止まっていきます。

おり旅気分になります。地元の食材がぎっしり詰まったお弁当をつまみながら、ぼんやりと車窓を眺めたりしていると、疲れはあまり感じません。空いた車内で仕事をするもよし、ぐっすり寝るもよし、本を読むもよし。普段は多忙でゆったりできない方も、逆に少し長い移動時間にくつろいでみてはいかがでしょうか。「のぞみ」では味わえない独特な旅情、山陽新幹線の「こだま」には、鉄道が本来持っている魅力が残っているのかもしれませんが。

(岡山大学職員組合 組合だより 163号より加筆のうえ再掲)



今でも子供や鉄道ファンの人気が高い500系。東京への乗り入れはなくなり、8両編成に短縮されて山陽新幹線の「こだま」で余生を送っています。

2. 新幹線でちょっとしたグルメを！東海道新幹線「ひかり」

東京へ出張するときにお世話になるのが新幹線。「のぞみ」に乗ると、いつもビジネス客で座席はびっしりと埋まり、何となく味気ないように感じてしまいます。そんな新幹線での移動に疲れたときは、「ひかり」を利用



16両の長い編成を従えて夕暮れの岡山駅に当駅始発の「ひかり」が入線します。東京までは長駆 700km余り、4時間少々のロングランが始まります。

してみてもいかがでしょうか。山陽新幹線から東海道新幹線へ直通する「ひかり」は、ほとんどが岡山駅始発で途中の名古屋までは空席が目立ち、車内でゆったりとくつろげます。静岡県内に入ると「のぞみ」が通過する浜松や



静岡駅の売店。たくさんの駅弁が並んでいて迷ってしまいますが、乗り遅れにはくれぐれもご注意ください。

静岡から乗車する人が増え座席が埋まることもあります。静岡から東京までは1時間程度ですので、それほど苦痛にはなりません。

そして「ひかり」を利用することで得られる最大のメリットは、途中の駅で地元の駅弁を買えるということです。2017年春に改訂された時刻表によると、岡山始発の「ひかり」

の大半は浜松と静岡の両駅でそれぞれ約5分ずつ停車します。発車時刻をよく確認してからホームへ降りて売店をのぞくと、地域色豊かな駅弁が並んでいます。浜松駅は言うまでもなく、ウナギを使ったお弁当が人気です。一方の静岡駅にも、駅弁ファンの間で有名な二つの名物駅弁がありますのでご紹介しましょう。



明治30年発売の「元祖鯛めし」。魚のそぼろが載った、甘辛くて優しい味のご飯です。



明治33年から販売されている静岡駅のサンドイッチ。フランス国旗に似た鮮やかな箱も印象に残ります。

一つは「元祖鯛めし」。発売元の「東海軒」のホームページによれば、明治30年に発売された超ロングセラーだそうで、甘辛い魚のそぼろが醤油で味付けされたご飯の上にふんわりと載っており、シンプルですが飽きのこない逸品です。おかずが付いた「特製鯛めし」も用意されています。

もう一つは「サンドイッチ」。サンドイッチは車内販売で買えるじゃないかと言われてそうですが、静岡駅のサンドイッチは明治



新幹線から眺める富士山。車窓からカメラを向ける人も多く、やはり日本一の山だと感じます。

33年に発売され、駅で売られているサンドイッチとしては日本最古の商品だということです。ハムサンドと卵サンドが三つずつ入った極めて簡素なものですが、パンがしっとり

していて美味しく、「さすがに長いこと愛されてきただけのことはあるな!」と納得する味です。

さらにありがたいのは、「元祖鯛めし」が700円、「サンドイッチ」は320円（いずれも2017年11月現在、東海軒ホームページによる）とお財布に優しい価格であることです。お弁



浜名湖も車窓の楽しみです。新幹線だとあつという間に通過してしまいます。



夕暮れの相生駅で「のぞみ」の通過待ち。愛嬌ある顔の700系が「ひかり」の主力ですが、最近は徐々に数を減らしています。

当を広げて、関ヶ原や浜名湖、富士山を眺めながら老舗の駅弁をいただくのも一興です。東京へ向かう場合、「のぞみ」よりも時間は30分から1時間程度、余分にかかりますが、移動の疲れはあまり感じなくなるかもしれません。

(岡山大学職員組合 組合だより175号より加筆のうえ掲載)

おわりに

今回は新幹線を使った旅行記をお届けしました。ローカル線の旅行は、日ごろの忙しさを忘れてのんびりと車窓を眺め、地元の駅弁などをつまむことが醍醐味ですが、新幹線にもそういった旅情が感じられる機会が残されています。日頃、時間に追われて新幹線を使うことが多いですが、たまには少し早く出発して、車内で有意義に時間を使ってみるのもいいかもしれません。

原稿募集

全大教時報編集部では、各大学・高専・大学共同利用機関の具体的な動き、取り組みなど多方面からの原稿を募集しております。下記投稿要領によって、積極的にお寄せください。

❖投稿要領

- 文体 自由
- 字数 本文については、以下を基準とします。
2頁 2000字 4頁 4000字
5頁 5000字 6頁 6000字
- 原稿締切 毎奇数月・15日
- 掲載 投稿の翌月号（但し、投稿が多数の場合は次号）
- 謝礼 規程により謝礼（図書カード）を進呈します。
- その他
 - ①投稿原稿は返却いたしません。
 - ②投稿にあたっては、標題、投稿者氏名、所属大学・高専、又は機関名の明記をお願いしております。

全大教時報 第41巻5号 2017年12月10日

(大学調査時報・大学部時報通算224号)

編集・発行 全国大学高専教職員組合 電話 (03) 3844 - 1671
〒110 - 0015 東京都台東区東上野 6 - 1 - 7 MSKビル7階

第39巻6号（2016年2月）までについて、冊子の購入ができます（一冊500円）ので、ご希望の方は事務局へお問い合わせください。

郵便振替口座 00170-6-18892



全国大学高専教職員組合

Faculty and Staff Union of Japanese Universities